

2013年2月18日経営会議の概要

日時 : 2013年2月18日(月) 午前8時30分~午前9時15分
会場 : 政策会議室
委員・幹事 : 市長、鷲北副市長、加藤副市長、政策経営部長、財務部長、経営改革室長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長
説明 : 議題1 市民協働推進担当部長、市民協働推進課長

議題1 : 町田市「協働による地域社会づくり」推進方針(案)の策定について(市民部)

【付議の目的】

- 推進方針(案)について承認を受ける。

【提案の概要】

単身世帯の増加、深い近隣関係を望まない人の増加、居住期間の短い賃貸住宅の居住者の増加などから、地域社会においては交流が希薄になり、支えあいや助け合いの絆が失われていく傾向がある。一方で、東日本大震災以降は、地域社会への関心が高まってきており、地域の人と人がつながり、誰もが身近な暮らしの中で地域のために発言し、様々な主体が協働によって地域の課題を解決していく、地域社会の仕組みづくりが求められている。また、2011年度に策定された町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」の「未来づくりプロジェクト」では、地域の特性や資源を活かし、実情に応じたまちづくりに市民が主体的に取り組むことができるよう、地域の多様な担い手と市の協働によるまちづくりを進めることとしている。

このような状況の中で、町田市が目指す「地域社会」の実現に向け、その達成の過程を『地域社会づくり』として位置づけ、協働の定義、原則、方法など庁内の意思統一を図り、市として積極的に「協働」による地域社会づくりを推進するため、「町田市『協働による地域社会づくり』推進方針」を策定する。

方針の策定後に、協働の理念を市民と共有する取組を実施していく。

【主な意見】

- 方針にある、「協働のパートナー」という言葉の使い方を整理しておく必要がある。
- 市として、協働の成果をチェックするための評価軸を定めることも検討していく必要がある。
- 町田市が目指す「地域社会」の実現のため、協働推進の5つの「コツ」の表現は再検討すべきである。

【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。